

令和2年度保護林モニタリング調査箇所一覧

資料4

資料:文献、調査簿、既存調査データから 概況:チェックシート、ライン調査等 詳細:プロット調査

計画区	管轄署	保護林名称	設定目的	H30保護林再編で変更・統合した保護林	保護林区分	保護林番号	面積	調査項目										備考
								森林タイプの分布等状況調査	樹種分布状況調査	樹木の生育状況調査	下層植生の生育状況調査	野生動物の生育状況調査	山火事・山腹崩壊・地すべり・噴火等の災害発生状況調査	病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査	論文等の発表状況調査	外来種駆除、民団連携の生物多様性保全に向けた事業・取組実績、巡視の実施状況	保護対象種・植物群落・動物種の生育・生息状況調査(希少個体群)	
会津	会津・南会津	奥会津森林生態系保護地域	会津地域の南西部に位置する駒ヶ岳、燧ヶ岳、帝釈山、田代山一帯で標高およそ1,000m以上の地域、さらに中西部の朝日岳、浅草岳、御神楽岳と連なる地域には、ブナ林を主体とした自然性の高い森林が広範囲に分布している。これら奥山のまとまった森林は、地域の骨格的な自然を形成している。また、野生動物の動物相も豊かであり、生態系を指標するイヌワシ、クマタカの生息も多く確認されている。とりわけ本地域から新潟県境にかけての峻険な奥山一帯は、日本に生息するイヌワシの個体群維持の中心地とも言えるべき代表的な生息・繁殖地となっている。このため、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するため設定する。		生態	4	83,992.18	資料	資料・詳細	資料・詳細	資料・概況		資料・詳細	資料	資料			
会津	会津	喰丸峠ケヤキ遺伝資源希少個体群保護林	樹齢300～500年のケヤキが生育し、林野庁指定の「森の巨人たち100選」に選定されている個体も生育している。老齢木からなるケヤキ林で、学術上及び森林施業上の考証として、また、遺伝資源の確保上貴重である。このため、老齢木からなるケヤキが生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	7	5.93	資料	資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	H26マイマイガ被害発生	
会津	会津	龍ノ山ヒメコマツ遺伝資源希少個体群保護林	急峻な尾根上に生育しているヒメコマツの自生地で、学術上及び森林施業上の考証として、また、遺伝資源の確保上貴重である。このため、ヒメコマツの生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	8	5.63	資料	資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細		
会津	会津	飯豊スギ希少個体群保護林	飯豊杉と称される天然スギの自生地で、学術上及び森林施業上の考証として貴重である。また、林業種苗法に基づく特別母樹・特別母樹林に指定され、遺伝資源の確保上貴重である。このため、天然スギが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	6	36.00	資料	資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細		
会津	会津	雄国沼湿原希少個体群保護林	再生複合体が見られるよく発達した高層湿原で、ホロムイチゴ、ヒオウギアヤマなどを多産し、当該地域では特に希少種が多い。国指定天然記念物にも指定されている。このため、希少種を多く含む高層湿原の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	9	174.13	資料	資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	湿原の乾燥化と低木・ヨシ等の侵入が見られる	
利根下流	群馬	根本沢シオジ遺伝資源希少個体群保護林	根本沢西側に源を発する桐生川の最上流地帯の峡谷に成立しているシオジ林であり、胸高直径で100cmを越える老齢木を含み、学術上及び遺伝資源の確保上貴重である。このため、土地的極相林として成立しているシオジが群生する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	40	21.28	資料	資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	下層植生にシカ食害あり	
伊豆諸島	小笠原	小笠原諸島森林生態系保護地域	小笠原諸島は、過去に一度も大陸と陸続きになったことがない海洋島であり、島嶼生態系として、独自の進化を遂げた貴重な動植物が数多く生息・生育し、特異な森林生態系を有している。このため、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するため設定する。		生態	8	5,578.99	資料	資料・詳細	資料・詳細	資料・概況		資料・詳細	資料	資料		アカギ・モクマオウ等駆除による復元事業実施中(モニタリングについては小笠原部会で検討)	
伊豆	伊豆	八丁池・皮子平生物群集保護林	八丁池周辺は、約15万年前に活動を終えた火山である天城山の西麓にあり、ヒメシャラを特徴とするブナを主体とした天然林である。一方で、皮小平は、約3千年前と地史的に新しい時期に噴火した溶岩上に成立している、モミやブナを主体とする天然林である。この一帯は、火山地形上に成立した天然林であるといった共通性を有しながらも、地史的には、新旧を対比できる特徴を有している。このため、火山地形の歴史を反映しているブナ・ヒメシャラ・モミを主体とした地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資するため設定する。	八丁池ブナ群落、皮子平ブナ・ヒメシャラ	群集	13	636.75	資料	資料・詳細	資料・詳細	資料・概況		資料・詳細	資料	資料		下層植生にシカ食害あり シカ柵設置2箇所あり	
伊豆	伊豆	白川ウラジロガシ遺伝資源希少個体群保護林	分布限界に近い暖温帯上部に成立しているカシ林で、アカガシ、ウラジロガシ、スダジイ、タブノキを主体とし、ルリミノキ、カクレミノ等、多様な樹種構成をもつ天然林として、植生分布及び学術上、また、遺伝資源の確保上貴重である。このため、分布限界に近いシイ・カシ類が生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。	区域拡張(3.19ha→5.08ha)	希少	78	5.08	資料	資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	区域拡張のためプロットの増設を検討	
伊豆	伊豆	皮子沢モミ希少個体群保護林	モミの天然分布の限界と言われている暖温帯上部から冷温帯下部に成立しているモミ林で、軽石溶岩流上に生じたもので植生遷移上及び学術上貴重である。このため、分布限界に位置し、特殊立地に成立しているモミが生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	74	11.26	資料	資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	下層植生にシカ食害あり	
伊豆	伊豆	寒天モミ希少個体群保護林	モミの天然分布の限界と言われている暖温帯上部から冷温帯下部に成立している、モミを主体とし、ブナ、ミズキ等の落葉広葉樹が混交する天然林で、植生遷移上及び学術上貴重である。このため、分布限界に位置するモミが生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	75	11.29	資料	資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	下層植生にシカ食害あり	

計画区	管轄署	保護林名称	設定目的	H30保護林再編で変更・統合した保護林	保護林区分	保護林番号	面積	調査項目										備考
								森林タイプの分布等状況調査	樹種分布状況調査	樹木の生育状況調査	下層植生の生育状況調査	野生動物の生育状況調査	山火事・山腹崩壊・地すべり・噴火等の災害発生状況調査	病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査	論文等の発表状況調査	外来種駆除、民団連携の生物多様性保全に向けた事業・取組実績、巡視の実施状況	保護対象種・植物群落・動物種の生育・生息状況調査(希少個体群)	
伊豆	伊豆	浄蓮ウラジロガシ・アカガシ希少個体群保護林	常緑広葉樹林の分布限界に近い暖温帯上部に成立している、ウラジロガシ、アカガシを主体とし、ヤマザクラ、アカマツ等の老齢木が混交する天然林で、植生遷移上及び学術上貴重である。このため、分布限界に近いカシ類が生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	77	37.35	資料		資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	下層植生にシカ被害有り アカマツにマツクイムシ被害 防除のため薬剤注入実施
伊豆	伊豆	しらめたの池モミ・スギ希少個体群保護林	モミ、スギ等の針葉樹とケヤキ等の広葉樹が混交する天然林で、原生的状態を保ち、シラスタの池はモリアオガエルの生息地として知られ、静岡県天然記念物「シラスタの池とその周辺の生物相」に指定され、学術上貴重である。このため、モリアオガエルの生息地として貴重な針広混交林を形成している群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	79	39.96	資料		資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	下層植生にシカ被害あり
伊豆	伊豆	長九郎シャクナゲ希少個体群保護林	長九郎山頂部にある、ホンシャクナゲの亜種にあたるキョウマルシャクナゲ(アマギシャクナゲを含む)の群落で、学術上貴重である。また、保護林の一部には、キョウマルシャクナゲ(アマギシャクナゲを含む)の本来の生育立地であるブナ群落も分布している。このため、キョウマルシャクナゲ(同)が生育する群落、及び、ブナ群落の希少な個体群を保護するため設定する。 ※キョウマルシャクナゲは、花はアズマシャクナゲと同じ5数性だが、枝振りにしまりがなく、葉が大きく裏に毛がほとんどないことなど、ホンシャクナゲの特徴を持つとして、ホンシャクナゲの変種とされている。また、アマギシャクナゲは、キョウマルシャクナゲの品種であり、キョウマルシャクナゲに比べ、葉はやや厚く若葉の表面に白色の綿毛がある点で区別される。当該地域のシャクナゲは、両者が混在しているようであるため、変種名、品種名を確定させず、保護林名称は従来から用いられてきた『長九郎シャクナゲ』としている。	区域拡張 (2.65ha→7.38ha)	希少	80	7.38	資料		資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	下層植生にシカ被害有り 区域拡張のためプロットの増設を検討
伊豆	伊豆	黄楊の峯ツゲ希少個体群保護林	標高1,000mの風衝地のブナとスズタケ等を主とする天然の疎林の中にツゲが群生しており、天城山では当該地に限られて自生するもので、学術上貴重である。このため、ツゲが生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	76	18.85	資料		資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	下層植生及びブナにシカ被害有り シカ柵設置2箇所あり
伊豆	伊豆	猫越ウラジロガシ希少個体群保護林	高齢級のスダジイ、アラカシ、シラカシが優占し、当該地域の自然植生を示す群落として、植生遷移上及び学術上貴重である。このため、シイ・カシ類が生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。		希少	81	11.28	資料		資料・詳細	資料・詳細			資料・詳細	資料	資料	資料・詳細	下層植生にシカ被害あり
保護林計					16箇所													
利根上流 吾妻中越	沼田 吾妻 中越	三国線	三国山脈を主とする国有林野において、野生動物の移動経路を確保し生息・生育地の拡大と相互交流を促すための緑の回廊を設定し、より広範囲で効果的な森林生態系の保護・保全に努める。		回廊	3	13,126.34	資料		資料・概況	資料・概況	資料・概況		資料・概況		資料	聞き取り	
会津	会津・ 南会津	会津山地	会津森林計画区の国有林野は、既に設定した奥羽山脈及び越後山脈並びに三国山脈等の緑の回廊のネットワーク化を推進する拠点として重要な位置にあり、本計画区内の南北に賦存する既設の保護林、緑の回廊及び新規設定する森林生態系保護地域とのトランジションゾーン(推移帯)としての役割を担う国有林を対象に、より広範囲で効果的な森林の連続性の確保と森林生態系の一層の保護・保全を図り、もって生物多様性の維持・向上に資することを目的とし、会津山地緑の回廊を設定する。		回廊	6	105,434.16	資料		資料・概況	資料・概況	資料・概況		資料・概況		資料	聞き取り	
緑の回廊 計					2箇所													